

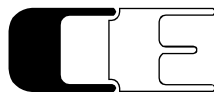
DualJog

ルーティングスイッチャー

Gen コントロールパネル

取扱説明書

Ver 1.10



COSMIC ENGINEERING
株式会社コスミックエンジニアリング

はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



注意

この表示内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。


警告
■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない

煙が出ている、変なおいがる、異常な音がする。

このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。


■ お客様による修理はしない

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。


■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。


■ 内部に異物を入れない

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。


■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。


■ ご使用は正しい電源電圧で

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因になります。


■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない

火災・感電の原因になります。


■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。


■ 電源ケーブルを傷つけない

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。

電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。

電源ケーブルを熱器具に近づけない。火災・感電の原因となります。


■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。


■ 機器の上に小さな金属物を置かない

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体から抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。




注意
■ 電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。


■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。


■ 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となります。

湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。


■ 通風孔をふさがない

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。


■ 重いものを載せない

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。


■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。


■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。


■ お手入れをする時は電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。

目次

表紙.....	1
はじめにお読みください.....	2
目次.....	5
1. 概要.....	7
2. 構成.....	7
3. 機能.....	7
4. ブロック図.....	8
5. 操作説明.....	9
5-1. 電源の投入と切断.....	9
5-2. 各部の名称.....	9
5-2-1. フロントサイド.....	9
5-2-2. リアサイド.....	15
6. 据付方法.....	16
6-1. ラックへの取付方法.....	16
6-2. 接続.....	16
6-2-1. Ethernet ケーブルの接続.....	16
7. ボタンへの機能の割り当て.....	17
7-1. 設定できる機能.....	17
8. DualJog のメニュー操作.....	19
8-1. メニュー操作.....	19
8-2. メニュー一覧.....	19
8-2-1. CONTROL PANEL/MODEL.....	20
8-2-2. CONTROL PANEL/ALIAS.....	20
8-2-3. CONTROL PANEL/FW VER.....	20
8-2-4. CONTROL PANEL/MAC ADDRESS.....	20
8-2-5. CONTROL PANEL/IP ADDRESS.....	20
8-2-6. CONTROL PANEL/NETMASK.....	20
8-2-7. CONTROL PANEL/GATEWAY.....	20
8-2-8. CONTROL PANEL/BRIGHTNESS.....	20
8-2-9. CONTROL PANEL/AUTO OFF.....	20
8-2-10. EDIT CONNECTION/SEARCH.....	20
8-2-11. INITIALIZATION/CP INIT.....	20
8-2-12. USB.....	20
8-2-13. SAVE.....	21
8-2-14. ROUTER1/ROUTER SETTING/IP ADDRESS.....	21
8-2-15. ROUTER1/ROUTER SETTING/ROUTER ID.....	21

- 8-2-16. ROUTER1/ROUTER SETTING/MODEL NAME21
- 8-2-17. ROUTER1/ROUTER SETTING/SDI IN NUM21
- 8-2-18. ROUTER1/ROUTER SETTING/SDI OUT NUM.....21
- 9. Web による各種設定22
 - 9-1. システム要件.....22
 - 9-1-1. 対応ブラウザ22
 - 9-1-2. ネットワーク環境.....22
 - 9-2. 起動.....22
- 10. コネクター ピンサイン表23
 - 10-1. RS-232C コネクター(9).....23
- 11. 定格および電気的特性.....23
- 12. 外観図24
- 13. お問い合わせ24

1. 概要

- DualJogはルーティングスイッチャーGenシリーズのコントロールパネルで、6.6型ワイドLCDと2つのジョグダイヤルを搭載したモデルです。
- ラックマウントまたはGenルーターへの取り付けが可能です。
- コントロールパネルはPoEで電源供給されるため、Ethernetケーブル1本で、制御と電源供給が可能です。
- EIA-1RUの19インチラックマウントサイズです。
- 欧州RoHS指令に適合しております。

2. 構成

DualJog を単品で購入された場合の構成品は、下表の通りとなります。すべて揃っていることを確認してください。

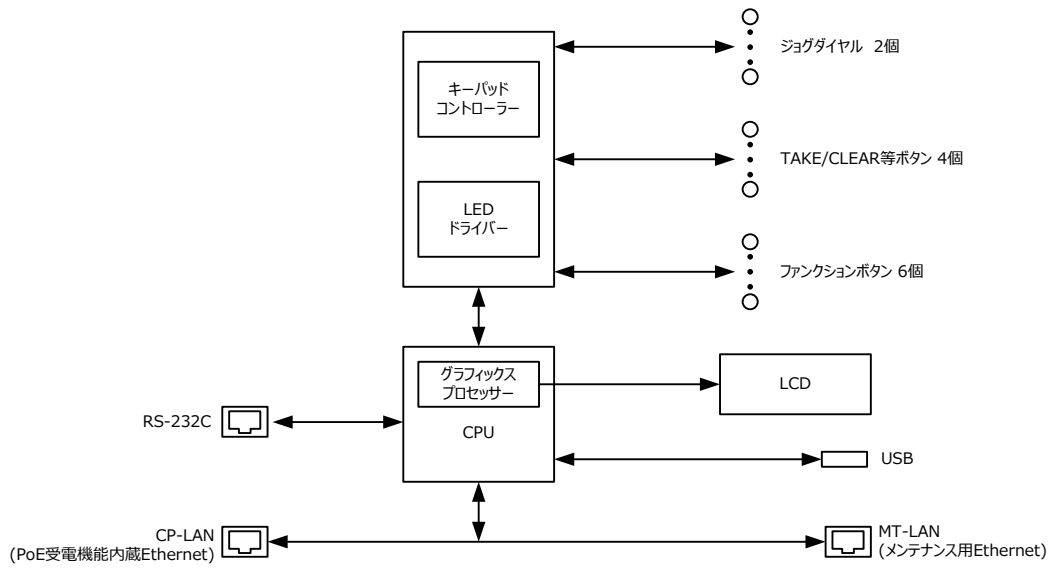
品名	型名	数量	備考
Gen コントロールパネル	DualJog	1	本体
EIA 規格ラック用マウントブラケット	gen-RMB01E	1	
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

DualJog を Gen ルーターとのセット型番(Gen1616-3G-CP 等)で購入された場合の構成品は、Gen ルーターの取扱説明書に記載されています。

3. 機能

- ・ GenルーターとのPoE接続により、制御と電源供給がEthernetケーブル1本で可能
- ・ PoE給電機能を内蔵したEthernetスイッチを使用すれば、1台のGenルーターに3台以上のコントロールパネルを接続することも可能 (Gen4848,Gen6464シリーズにはGenルーター側にPoE対応のEthernetコネクタが3個搭載されているので、4台以上接続する場合にEthernetスイッチが必要になります。)
- ・ オーディオ系ルーターとビデオ系ルーターを1つのコントロールパネルで操作できる、AV連動機能を搭載
- ・ ソース名、デスティネーション名のラベリングが可能 (漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベット・数字・記号を使用できます。)
- ・ 6.6型 (70mm×30mm) ワイドLCDを装備
- ・ ビデオ系ルーターに接続した場合には、ソース映像・デスティネーション映像を表示でき、ラベル・フォーマット等の情報も同時に表示可能 (Plainモデルの場合、映像表示は非対応です。)
- ・ オーディオ系ルーターに接続した場合には、ソース音声のピークメーター・デスティネーション音声のピークメーターを表示でき、ラベル・サンプリング周波数等の情報も同時に表示可能 (Plainモデルの場合、ピークメーター表示は非対応です。)
- ・ フロントサイドにEthernetコネクタを装備し、Genルーターおよびコントロールパネルの設定が簡単に可能
- ・ フロントサイドにUSBコネクタを装備し、USBメモリーを使用して設定ファイルの転送が可能
- ・ 6個のファンクションボタンを装備し、サルボ機能、パネルロック機能、デスティネーションロック機能など任意の機能を割り当て可能

4. ブロック図



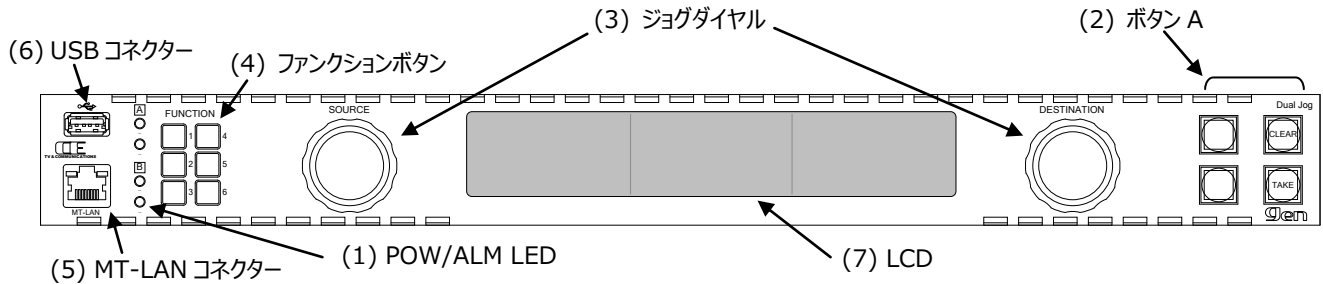
5. 操作説明

5-1. 電源の投入と切断

Ethernet ケーブルで Gen ルーターまたは PoE 給電機能付き Ethernet スイッチと接続してください。Gen ルーターまたは PoE 給電機能付き Ethernet スイッチの電源をオンするとコントロールパネルの電源が入り、Gen ルーターまたは PoE 給電機能付き Ethernet スイッチの電源をオフすると電源が切れます。

5-2. 各部の名称

5-2-1. フロントサイド



(1) POW/ALM LED

Gen ルーター側の電源とアラームの状態を示す LED です。電源 LED は正常時には緑点灯し、故障又は電源未投入時には赤点灯します。ALM LED は正常時には消灯し、FAN 異常や設定された内部アラーム(内部温度異常等)が発生した時には赤点灯します。Gen ルーターとの接続が確立できない場合は、POW LED が 2 つとも消灯し、ALM LED が 2 つとも赤点灯します。DualJog の電源がオフのときにはすべての LED が消灯します。

(2) ボタン A

任意の機能を割り当て可能な、4 色点灯タイプのボタンです。出荷時設定では、左上が割り当てなし、左下も割り当てなし、右上が CLEAR、右下が TAKE に設定されています。Web アクセスにより、各ボタンに任意の機能を割り当てることができます。割り当てることのできる機能は 7 章を参照してください。

(3) ジョグダイヤル

ソース、デスティネーション、メニュー操作を行うジョグダイヤルです。右ジョグダイヤルを回してデスティネーションを選択した後、左ジョグダイヤルを回してソースを選択し、左ジョグダイヤルを押すことによりソースが決定されます。またテイクモードでテイク待ちのクロスポイント切替コマンドを右ジョグダイヤルで選択し、右ジョグダイヤルを押すことにより、登録したクロスポイント切替コマンドをキャンセルすることができます。

(4) ファンクションボタン

任意の機能を割り当て可能な、単色点灯タイプのボタンです。出荷時設定は、F1 = パネルロック、F2 = テイクモード、F3 = 割り当てなし、F4 = カレントデスティネーションロック (ロックオール)、F5 = 表示モード切替、F6 = 割り当てなしです。Web アクセスにより、各ボタンに任意の機能を割り当てることができます。割り当てることのできる機能は 7 章を参照してください。

(5) MT-LAN コネクター

メンテナンス用の Ethernet コネクターです。DualJog の内部で CP-LAN に接続されています。

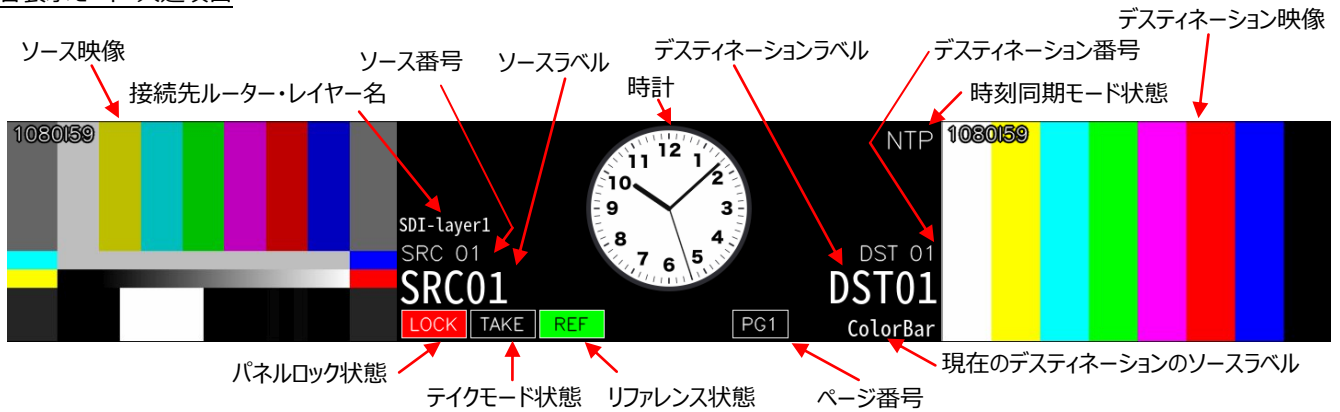
(6) USB コネクター

USB メモリー接続用のコネクターです。USB メモリーと DualJog の間で設定ファイルの転送を行うことができます。

(7) LCD

様々な情報を表示可能な 6.6 型ワイド LCD です。6 種類の表示モードがあり、表示モードに従って情報を表示します。ビデオ系ルーター接続時の例を以下に示します。

各表示モード 共通項目



すべての表示モードまたは複数の表示モードで、上図に示した「ソース番号」、「ソースラベル」、「ソース映像」、「デスティネーション番号」、「デスティネーションラベル」、「デスティネーション映像」、「接続先ルーター・レイヤー名」、「時計」、「時刻同期モード状態」、「パネルロック状態」、「テイクモード状態」、「リファレンス状態」、「ページ番号」、「現在のデスティネーションのソースラベル」が表示されます。

ソース番号	現在選択されているソースの番号が表示されます。
ソースラベル	現在選択されているソースのラベルが表示されます。
ソース映像	現在選択されているソースの映像が表示されます。映像枠内の左上の部分には映像のフォーマットが表示されます。
デスティネーション番号	現在選択されているデスティネーションの番号が表示されます。
デスティネーションラベル	現在選択されているデスティネーションのラベルが表示されます。
デスティネーション映像	現在選択されているデスティネーションの映像が表示されます。映像の左上にはフォーマットが表示されます。映像枠内の左上の部分には映像のフォーマットが表示されます。
接続先ルーター・レイヤー名	接続先のレイヤーの名前が表示されます。
時計	表示モードにより、アナログ時計またはデジタル時計が表示されます。
時刻同期モード状態	Gen ルーターの時刻同期モードがオンのときは、設定により NTP(Network Time Protocol) または LTC(Longitudinal Time Code)のどちらかの表示になります。時刻同期モードがオフのときは何も表示されません。
パネルロック状態	パネルロックがオンのときは LOCK と表示され、パネルロックがオフのときは何も表示されません。
テイクモード状態	テイクモードがオンのときは TAKE と表示され、テイクモードがオフのときは何も表示されません。
リファレンス状態	Gen にリファレンス信号が正常に入力されているときは REF と表示され、リファレンスが入力されていない又は認識できない信号であった場合には何も表示されません。
ページ番号	現在のページ番号が表示されます。
現在のデスティネーションのソースラベル	現在選択されているデスティネーションに割り当てられているソースのラベルが表示されます。

表示モード 1



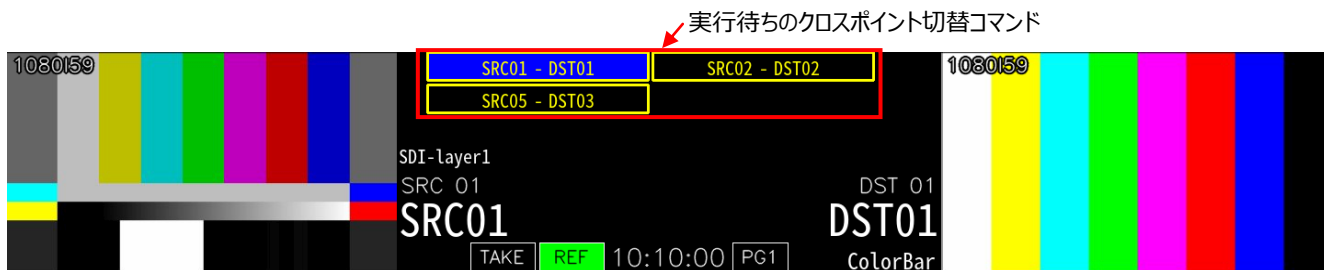
表示モード 1 では、ソース映像・デスティネーション映像・アナログ時計が同時に表示されます。

右ジョグダイヤルを回すとデスティネーション番号・デスティネーションラベル・デスティネーション映像が変化し、それに連動してソース番号・ソースラベル・ソース映像もそのデスティネーションに割り当てられたソースのものに変化します。

左ジョグダイヤルを回すとソース番号・ソースラベル・ソース映像が変化します。テイクモードがオンの場合は、左ジョグダイヤルを押すとクロスポイント切替コマンドが実行待ちの状態になり、TAKE ボタンを押した時点でクロスポイント切替コマンドが発行されます。

テイクモードがオフの場合は、左ジョグダイヤルを押した時点でクロスポイント切替コマンドが発行されます。

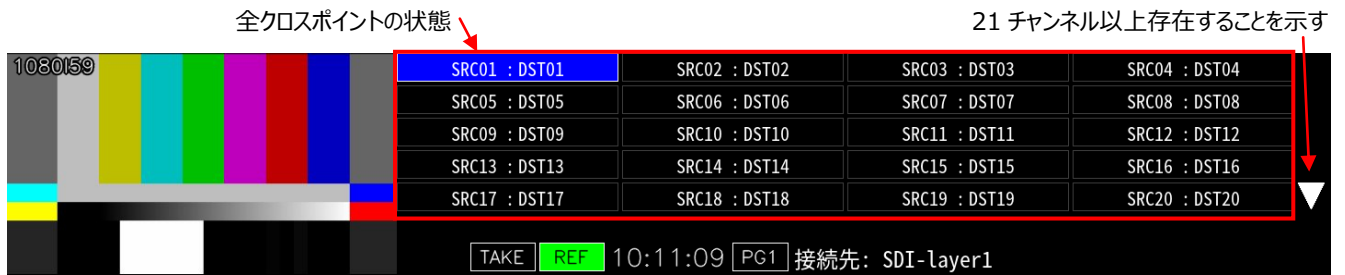
表示モード 2



表示モード 2 では表示モード 1 のアナログ時計の代わりに実行待ちのクロスポイント切替コマンドが表示されます。クロスポイント切替コマンドの表示形式は「ソースラベル - デスティネーションラベル」です。実行待ちのクロスポイント切替コマンドが表示されるのはテイクモードがオンのときのみとなります。

現在選択されているデスティネーションが青表示となり、この状態で右ジョグダイヤルを押すと、「SRC01 - DST01」のコマンドのみキャンセルされます。CLEAR ボタンを押すと、すべてのコマンドがキャンセルされます。

表示モード 3



表示モード 3 では、全てのクロスポイントの状態が「ソースラベル : デスティネーションラベル」の形式で表示されます。現在選択されているデスティネーションが青表示となります。

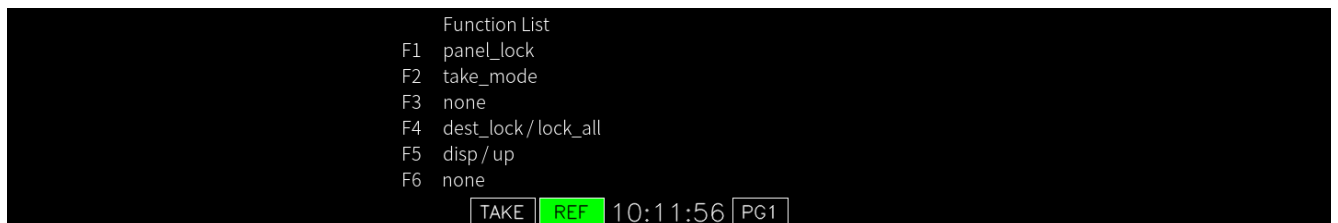
チャンネル数が多く 1 画面に収まらない場合は、画面の右端に三角または逆三角のマークが表示されます。デスティネーション映像の表示が無くなり、ソース映像表示のみとなります。

表示モード 4



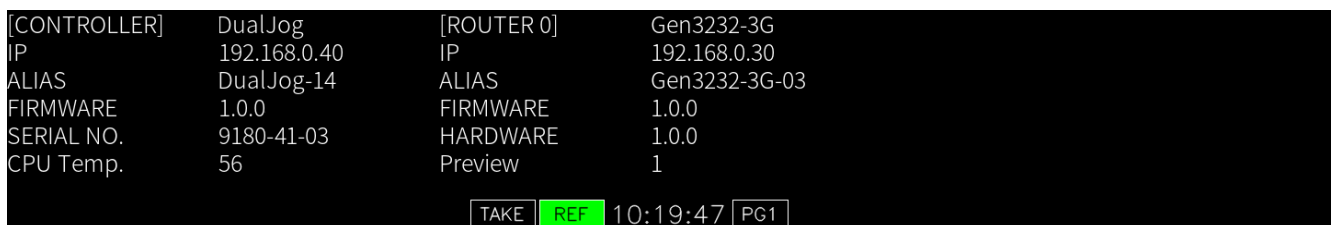
デジタル時計表示モードです。

表示モード 5



ファンクションボタンの機能を表示するモードです。

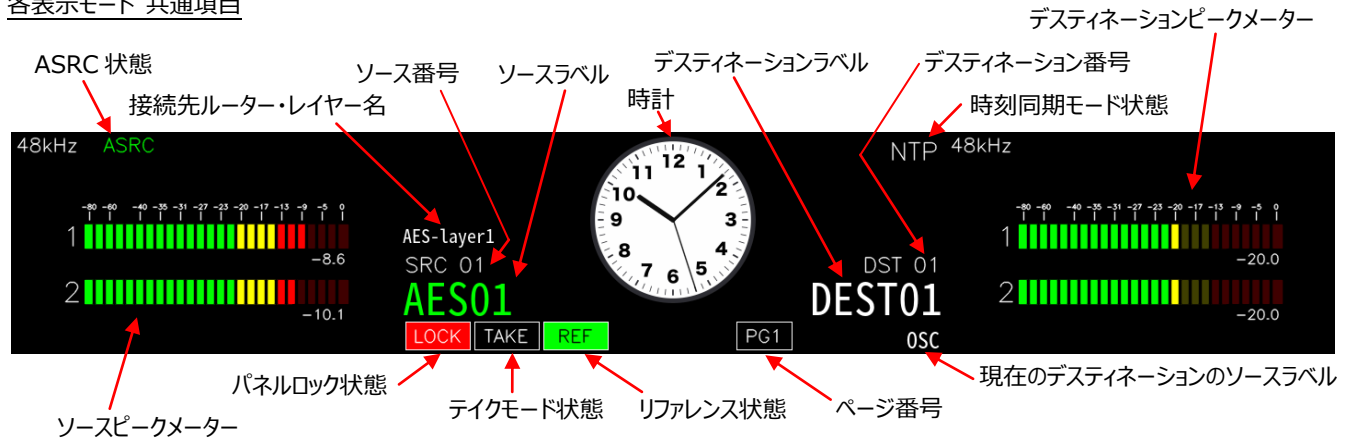
表示モード 6



DualJog および Gen ルーターの IP アドレスとプログラムバージョンを表示するモードです。

オーディオ系ルーター接続時の例を以下に示します。

各表示モード 共通項目



すべての表示モードまたは複数の表示モードで、上図に示した「ソース番号」、「ソースラベル」、「ソースピークメーター」、「ASRC 状態」、「デスティネーション番号」、「デスティネーションラベル」、「デスティネーションピークメーター」、「接続先ルーター・レイヤー名」、「時計」、「時刻同期モード状態」、「パネルロック状態」、「テイクモード状態」、「リファレンス状態」、「ページ番号」、「現在のデスティネーションのソースラベル」が表示されます。

ソース番号	現在選択されているソースの番号が表示されます。
ソースラベル	現在選択されているソースのラベルが表示されます。ASRC が割り当てられている場合は文字が緑色になります。
ソースピークメーター	現在選択されているソースのオーディオレベルがバー表示されます。ピークメーターの左上にはサンプリング周波数が表示されます。
ASRC 状態	現在選択されているソースに ASRC が割り当てられている場合は緑色で ASRC と表示されます。ASRC が割り当てられていない場合は何も表示されません。
デスティネーション番号	現在選択されているデスティネーションの番号が表示されます。
デスティネーションラベル	現在選択されているデスティネーションのラベルが表示されます。
デスティネーションピークメーター	現在選択されているデスティネーションのオーディオレベルがバー表示されます。ピークメーターの左上にはサンプリング周波数が表示されます。
接続先ルーター・レイヤー名	接続先のレイヤーの名前が表示されます。
時計	表示モードにより、アナログ時計またはデジタル時計が表示されます。
時刻同期モード状態	Gen ルーターの時刻同期モードがオンのときは、NTP(Network Time Protocol)と表示されます。時刻同期モードがオフのときは何も表示されません。 ※ オーディオ系ルーターで時刻同期モードとして設定できるのは NTP のみとなります。
パネルロック状態	パネルロックがオンのときは LOCK と表示され、パネルロックがオフのときは何も表示されません。
テイクモード状態	テイクモードがオンのときは TAKE と表示され、テイクモードがオフのときは何も表示されません。
リファレンス状態	Gen ルーターにリファレンス信号が正常に入力されているときは REF と表示され、リファレンスが入力されていない又は認識できない信号であった場合には何も表示されません。
ページ番号	現在のページ番号が表示されます。
現在のデスティネーションのソースラベル	現在選択されているデスティネーションに割り当てられているソースのラベルが表示されます。

表示モード 1



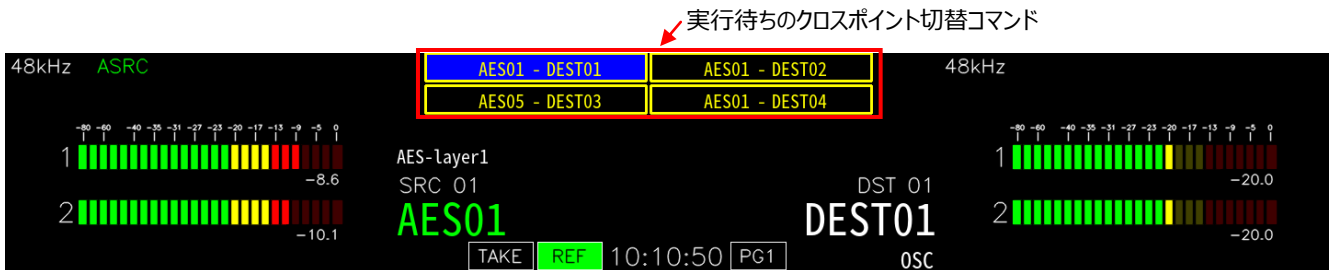
表示モード 1 では、ソースピークメーター・デスティネーションピークメーター・アナログ時計が同時に表示されます。

右ジョグダイヤルを回すとデスティネーション番号・デスティネーションラベル・デスティネーションピークメーターが変化し、それに連動してソース番号・ソースラベル・ソースピークメーターもそのデスティネーションに割り当てられたソースのものに変化します。

左ジョグダイヤルを回すとソース番号・ソースラベル・ソースピークメーターが変化します。テイクモードがオンの場合は、左ジョグダイヤルを押すとクロスポイント切替コマンドが実行待ちの状態になり、TAKE ボタンを押した時点でクロスポイント切替コマンドが発行されます。

テイクモードがオフの場合は、左ジョグダイヤルを押した時点でクロスポイント切替コマンドが発行されます。

表示モード 2



表示モード 2 では表示モード 1 のアナログ時計の代わりに実行待ちのクロスポイント切替コマンドが表示されます。クロスポイント切替コマンドの表示形式は「ソースラベル - デスティネーションラベル」です。実行待ちのクロスポイント切替コマンドが表示されるのはテイクモードがオンのときのみとなります。

現在選択されているデスティネーションが青表示となり、この状態で右ジョグダイヤルを押すと、「AES01 - DEST01」のコマンドのみキャンセルされます。CLEAR ボタンを押すと、すべてのコマンドがキャンセルされます。

表示モード 3

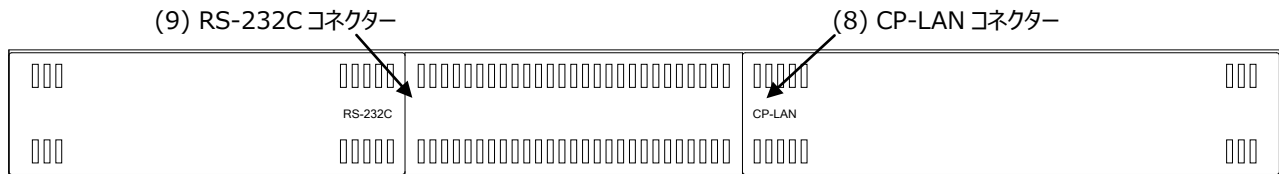


表示モード 3 では、全てのクロスポイントの状態が「ソースラベル : デスティネーションラベル」の形式で表示されます。現在選択されているデスティネーションが青表示となります。

チャンネル数が多く 1 画面に収まらない場合は、画面の右端に三角または逆三角のマークが表示されます。デスティネーションピークメーターの表示が無くなり、ソースピークメーター表示のみとなります。

表示モード 4～6 はビデオ系ルーター接続時と同じです。

5 - 2 - 2. リアサイド



(8) CP-LAN コネクター

Gen ルーターと接続する Ethernet コネクターです。PoE での受電に対応しています。

(9) RS-232C コネクター

他社製ルーター等接続用 RS-232C コネクターです。現在のバージョンでは機能しません。

6. 据付方法



注意

本製品の電源がオフであることを確認してから作業を行ってください。電源がオフでないと機器間のGND電位差による感電、機器の損傷等の可能性があります。また、静電気等により機器が損傷等する可能性がありますので、静電対策を行ってから作業を行ってください。

6 – 1. ラックへの取付方法

本製品を EIA 規格のラックに取り付ける場合は、付属品のラックマウントブラケット Gen-RMB01E を使用するか、またはオプションのラックマウントブラケット Gen-RMB03E(ローレットネジあり)を購入して頂く必要があります。Gen-RMB01E をご使用の場合は、Gen-RMB01E を DualJog に取り付けした後、ラックマウント取り付け穴(左右に各 2 個)を利用して M5 のネジでラックへ取り付けてください。Gen-RMB03E をご使用の場合は、Gen-RMB03E を DualJog に取り付けした後、Gen-RMB03E に装備されているローレットねじ(左右に各 1 個)を利用してラックへ取り付けてください。

6 – 2. 接続

6 – 2 – 1. Ethernet ケーブルの接続

Gen ルーター又は PoE 給電機能付き Ethernet スイッチとカテゴリ 5e 以上の Ethernet ケーブルで CP-LAN コネクター(8)と接続します。

7. ボタンへの機能の割り当て

ボタン A、ファンクションボタンには、任意の機能を割り当てることができます。

7-1. 設定できる機能

設定できる機能の一覧を下表に示します。

各ボタンは、機能の設定と同時に点灯色と点灯時の明るさを選択することができます。ボタン A の点灯色は Green、Red、Amber、Blue から選択します。ファンクションボタンは Amber 固定です。ボタン A、ファンクションボタンのどちらも、弱点灯時の明るさは Normal、Dark の 2 段階から選択し、強点灯時の明るさは 1～8 の 8 段階から選択します(デフォルト 4)。設定は Web から行います。

機能	内容
NONE	割り当て機能なし
BUS	指定デスティネーションに指定ソースを割り当てます。ルーター、レイヤー、ソース、デスティネーションを設定します。ソース、デスティネーションはルーターのラベル名が番号と共に表示されます。
CP SALVO	指定したコンパネサルボを実行します。登録されているサルボ名を設定します。
ROUTER SALVO	指定したルーターサルボを実行します。ルーターID、登録されているサルボ名を設定します。
SRC N	ソース番号を指定。
DEST N	デスティネーション番号を指定。
NUMBER	ソース番号、又は、デスティネーション番号を指定します。 この機能を利用する場合、別途、SRC、DEST 機能をいずれかのボタンに割り当てることが必要です。 また、NUMBER を指定した場合、ボタン色、明るさの設定は SRC、DEST の設定に準拠します。 例えば、SRC に Amber を選択している場合、SRC ボタンを押下すると、全ての NUMBER ボタンの点灯色は Amber になります。
SRC	NUMBER で設定されたボタンをソースに割り当てます。
DEST	NUMBER で設定されたボタンをデスティネーションに割り当てます。
TAKE	クロスポイントを切り替えます。テイクモード時に有効となり、テイクモードオフ時にはクロスポイントを切り替えるごとに強点灯後、自動で弱点灯になります。
CLEAR	操作をクリアします。全操作をクリア (ALL) するか、現在表示しているコマンドをクリアするか (CURRENT) 指定します。
TAKE	クロスポイントを切り替えます。テイクモード時に有効となり、テイクモードオフ時にはクロスポイントを切り替えるごとに強点灯後、自動で弱点灯になります。
TAKE MODE SWITCH	押す度にテイクモードをオン、オフします。テイクモード時は強点灯します。 ※コントロールパネルの電源投入時の設定は一般タブのテイクモード設定となります。
PANEL LOCK	押す度にパネルロック状態と通常状態を切り替えます。パネルロック状態では、強点灯します。
DEST LOCK	押す度にデスティネーションロック状態と通常状態を切り替えます。デスティネーションロック状態では、強点灯します。本コントロールパネルで現在選択しているデスティネーションを本コントロールパネルからの操作をロックする LOCK_LOCAL、本コントロールパネルで現在選択しているデスティネーションを他のコントロールパネルからの操作をロックする LOCK_OTHER、本コントロールパネルで現在選択しているデスティネーションを全コントロールパネルからの操作をロックする LOCK_ALL を設定します。

機能	内容
DEST LOCK N	押す度に指定したデスティネーション番号をロック状態と通常状態を切り替えます。デスティネーションロック状態では、強点灯します。ルーター、レイヤー、ロックモード、デスティネーション番号を設定します。
PAGE	ページを変更します。UP、DOWN、JUMP のいずれかを選択し、JUMP の時は、ジャンプするページを設定します。
MVU PRESET	<p>接続先がビデオ系ルーターでマルチビュー機能がある場合、マルチビューのプリセット番号を切り替えます。UP、DOWN、JUMP のいずれかを選択し、JUMP の時は、ジャンプするプリセット番号を設定します。</p> <p>例えばルーターが 3 つのプリセットを持つ場合、以下のような動作となります。</p> <p>UP: PRESET1 → PRESET2 → PRESET3 → PRESET1</p> <p>DOWN: PRESET1 → PRESET3 → PRESET2 → PRESET1</p> <p>JUMPTO: PRESET1、PRESET2、PRESET3 のいずれかを指定。PRESET4 を指定した場合、最大値の PRESET3 が設定されます。</p>
DISP MODE	押す度に表示モードを切り替えます。UP、DOWN、JUMP のいずれかを選択し、JUMP の時は、ジャンプする表示モードを設定します。
TEST ASG	<p>オーディオ系ルーターの SG(内蔵オシレータ)の CH1、CH2 を独立して ON/OFF/TOGGLE を割り当てることができます。</p> <p>TOGGLE を設定した場合、ボタン押下ごとに ON→OFF→ON となります。</p>

8. DualJog のメニュー操作

通常表示状態で CLEAR(A3)、TAKE(A4)、F1 ボタンを同時に押すことにより、メニューモードに入り、LCD にメニューが表示されます。メニューのトップ階層で CLEAR(A3)ボタンを押すことにより通常モードに戻ります。メニューモードでは DualJog 自身の設定および接続先の Gen ルーターの情報を表示することができます。

8 - 1. メニュー操作

メニューモードでは各ボタンに以下の機能が割り当てられます。

ボタン	機能・操作内容
TAKE(A4)	選択／決定
CLEAR(A3)	キャンセル／1つ上の階層に移動
F1	メニューの左移動
F4	メニューの右移動
F2	メニューの上移動
F3	メニューの下移動
右側ジョグダイヤル	メニューの左右移動
左側ジョグダイヤル	メニューの上下移動

F1～F4 ボタンは長押しでカーソル早送りができます。

8 - 2. メニュー一覧

メニューモード

CONTROL PANEL	コントロールパネル自身の設定
MODEL	モデル名の表示
ALIAS	設定されている別名の表示
FW VER	FWのバージョン表示
MAC ADDRESS	MACアドレスの表示
IP ADDRESS	IPアドレスの設定
NETMASK	ネットマスクの設定
GATEWAY	ゲートウェイの設定
BRIGHTNESS	LCD輝度の設定
AUTO OFF	自動LCD表示オフの設定
INITIALIZATION	初期化
CP INIT	コントロールパネル設定の初期化
USB	設定ファイルの転送
BACKUP TO USB	コントロールパネルからUSBメモリーへのファイル転送
UPDATE FROM USB	USBメモリーからコントロールパネルへのファイル転送
EDIT CONNECTION	接続するルーターの変更
SEARCH	ルーター／コントロールパネルの検索
SAVE	設定した項目の保存
ROUTER1	ルーター1の設定（ルーターが登録されているときのみ表示。最大6台）
ROUTER SETTING	
IP ADDRESS	IPアドレスの表示
ROUTER ID	ルーター識別用IDの表示
MODEL NAME	モデル名の表示
SDI IN NUM	SDI入力数の表示（AESモデルはAESの入力数）
SDI OUT NUM	SDI出力数の表示（AESモデルはAESの出力数）

8 - 2 - 1 . CONTROL PANEL/MODEL

モデル名を表示します。本製品では、DualJog と表示されます。

8 - 2 - 2 . CONTROL PANEL/ALIAS

設定されている別名を表示します。初期設定は、DualJog_[MAC アドレス下位 2 桁]と設定されています。

8 - 2 - 3 . CONTROL PANEL/FW VER

ファームウェア・バージョンを表示します。

8 - 2 - 4 . CONTROL PANEL/MAC ADDRESS

MAC アドレスを表示します。

8 - 2 - 5 . CONTROL PANEL/IP ADDRESS

IP アドレスの設定をします。初期設定は、192.168.0.40 です。左右ボタンでアドレスを移動し、上下ボタンで数字をアップ、ダウンして設定します。

8 - 2 - 6 . CONTROL PANEL/NETMASK

ネットマスクの設定をします。初期設定は、255.255.255.0 です。

8 - 2 - 7 . CONTROL PANEL/GATEWAY

ゲートウェイの設定をします。初期設定は、192.168.0.100 です。

8 - 2 - 8 . CONTROL PANEL/BRIGHTNESS

LCD 輝度の設定をします。1（暗い）～7（明るい）が設定でき、初期設定は 4 です。

8 - 2 - 9 . CONTROL PANEL/AUTO OFF

自動 LCD 表示オフの設定をします。0 分（オフしない）～120 分が設定でき、初期設定は 0 分です。

8 - 2 - 10 . EDIT CONNECTION/SEARCH

CP-LAN に接続された Gen ルーターおよびコントロールパネルを検索し表示します。サーチを選択すると検索後、台数表示画面に移ります。さらにルーター・コントロールパネル・新規ルーターを選択すると詳細結果画面に移ります。詳細結果画面から、新規ルーターの登録や登録済みルーターの削除ができます。変更後、サーチメニューからぬけるときに保存するか否か選択してください。新規登録の際、ルーター ID やルーター IP アドレスが同一のものを登録すると誤動作しますので、その場合は Web による再設定を行ってください。

8 - 2 - 11 . INITIALIZATION/CP INIT

コントロールパネルの設定を初期化します。

8 - 2 - 12 . USB

USB コネクタ(6)に挿入した USB メモリーとコントロールパネルとの間で、設定ファイルの転送を行うことができます。

BACKUP TO USB : コントロールパネルから USB メモリーへの転送

UPDATE FROM USB : USB メモリーからコントロールパネルへの転送

USB メモリー直下のディレクトリーに設定ファイルが存在しない場合、UPDATE FROM USB は選択できません。また、USB メモリーが接続されていないときはリロードするか否かの画面が表示されます。この場合、USB メモリーを挿してリロード画面で YES を選択するか、または再度 USB メニュー画面に入り直してください。USB のアンマウントはファイル転送後、USB メニューから抜けるときに行われます。USB メニューの中にいるときは、USB メモリーを抜かないでください。

8 - 2 - 1 3 . SAVE

メニューモードで変更した内容を YES (セーブする)、NO(セーブせずに変更した内容を破棄)、CANCEL (セーブせずに変更した内容は保持) から選択します。

8 - 2 - 1 4 . ROUTER1/ROUTER SETTING/IP ADDRESS

登録済みルーターの IP アドレスを表示します。

8 - 2 - 1 5 . ROUTER1/ROUTER SETTING/ROUTER ID

登録済みルーターの識別用 ID を表示します。

8 - 2 - 1 6 . ROUTER1/ROUTER SETTING/MODEL NAME

登録済みルーターのモデル名を表示します。

8 - 2 - 1 7 . ROUTER1/ROUTER SETTING/SDI IN NUM

登録済みルーターの SDI 入力数(オーディオ系ルーターの場合は AES/EBU の入力数)を表示します。

8 - 2 - 1 8 . ROUTER1/ROUTER SETTING/SDI OUT NUM

登録済みルーターの SDI 出力数(オーディオ系ルーターの場合は AES/EBU の出力数)を表示します。

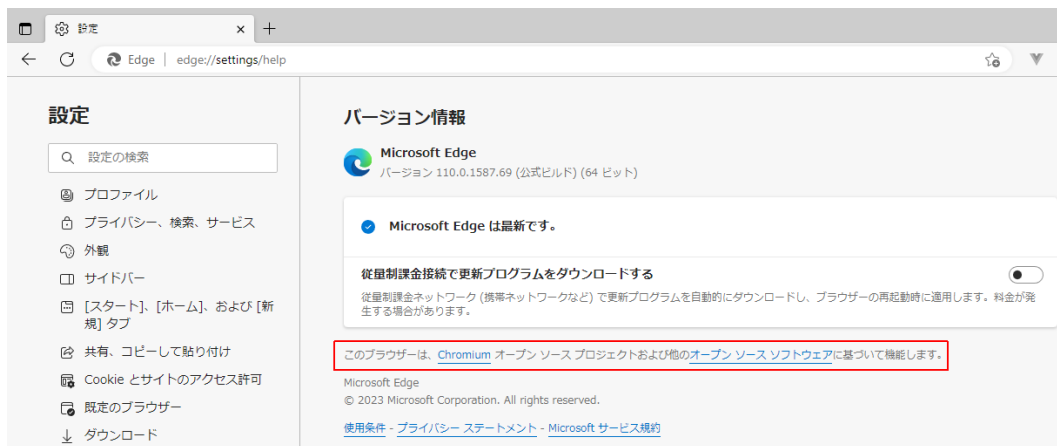
9. Webによる各種設定

9-1. システム要件

9-1-1. 対応ブラウザ

Google Chrome および Microsoft Edge に対応しております。

Microsoft Edge に関しては、バージョン情報表示で「このブラウザは Chromium オープンソースプロジェクトおよび他のオープンソースソフトウェアに基づいて機能します。」と記述があるものが対象です。



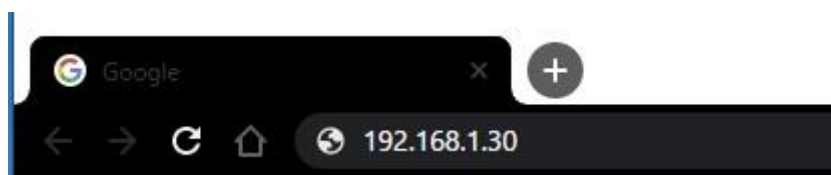
Microsoft Edge バージョン情報確認

9-1-2. ネットワーク環境

ブラウザが動作する PC を、MG-LAN に接続します。MG-LAN への接続は、Ethernet スイッチを経由しても構いません。

9-2. 起動

ブラウザのアドレスバーに Gen ルーターの IP アドレスを入力して Gen ルーターに接続します。Gen ルーターの IP アドレス出荷時設定は、ビデオ系ルーターの場合は “192.168.1.30”、オーディオ系ルーターの場合は “192.168.1.31” です。ネットワーク上に複数の Gen ルーターが存在する場合は、その中の 1 つの Gen ルーターの IP アドレスを指定してください。



Gen Web アプリ起動方法

Gen ルーターに接続すると、CP-LAN に接続されているすべての Gen ルーターとコントロールパネルの一覧が表示されます。詳細な設定方法は、『93-10165 GenWeb 設定取扱説明書』を参照してください。

10. コネクター ピンサイン表

10-1. RS-232C コネクター(9)

RJ-45 コネクター

1	NC
2	NC
3	RS-232C-TX

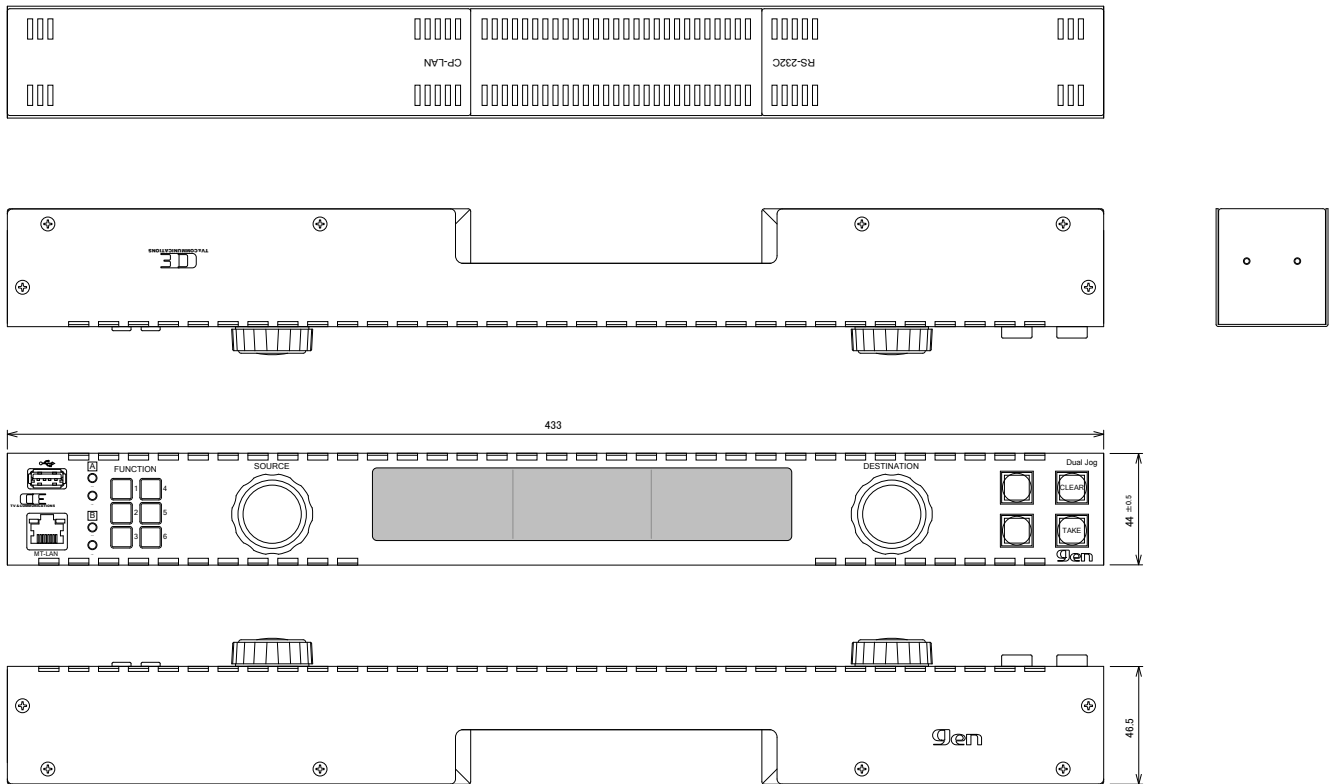
4	GND
5	GND
6	RS-232C-RX

7	NC
8	NC

11. 定格および電気的特性

Ethernet (PoE 受電対応)	コネクター	RJ-45×1 (CP-LAN)
	対応レート	10/100/1000 Mbps
Ethernet (PoE 非対応)	コネクター	RJ-45×1 (MT-LAN)
	対応レート	10/100/1000 Mbps
RS-232C	コネクター	RJ-45×1
動作環境	0℃～40℃ 20%～85%(結露なきこと)	
電源	DC 48V	
消費電力	DualJog	13W (DualJog を Gen 本体に接続したときの、Gen 本体の消費電力の増加分)
外形寸法	W433 × H44 × D46.5 (突起部を除く)	
質量	0.9 kg	
付属品	Gen-RMB01E	EIA 規格ラック用マウントブラケット (ローレットネジなし)
オプション	Gen-RMB02E	Gen ルーター本体取付用マウントブラケット (ローレットネジあり)
	Gen-RMB03E	EIA 規格ラック用マウントブラケット (ローレットネジあり)

1 2 . 外観図



1 3 . お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX:042-584-0314

URL:<https://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail:c1000@cosmic-eng.co.jp